

会 員 各 位（総務・人事担当責任者殿）


一般社団法人 全国住宅産業協会
事務局 長 米 山 篤 史

全住協メールマガジン「IT・DXツールの導入状況に関するアンケート調査」の実施について

当協会では毎月15日に会員向けのメールマガジンを発行しておりますが、このたび、標記アンケートを実施することといたしました。

新型コロナウイルス感染拡大当初はテレワークやオンライン接客等のニーズの高まりからIT化・DX化が急激に進行しましたが、行動制限の緩和が進んだ現在でもそのニーズは変わらず社会的に定着していると言えます。With コロナとなっている現状を受けて、業務やシステムの見直しを改めて行う企業も多いことから、会員企業におけるIT・DXツールの導入状況を把握するとともに回答集計結果を会員間で共有し、各社の対応の参考としていただくため、標記アンケート調査を実施いたします。是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 調 査 名 全住協メールマガジン「IT・DXツールの導入状況に関するアンケート調査」
2. 回 答 12月16日(金)までに下記いずれかの方法でご回答ください。
 - (1) WEBによる回答
右記QRコード若しくは回答用URL
(<https://forms.gle/J8EAP3MwcK7tDiRV6>)
からアクセスの上、ご回答ください。
 - (2) FAXによる回答
別添「全住協メールマガジン『IT・DXツールの導入状況に関するアンケート調査』回答票」を全住協事務局宛にFAXで
(03-3511-0616)ご返信ください。
3. 回答者プレゼント 回答いただいた方の中から、抽選で30名に「Amazonギフト券」2000円分をプレゼントいたします。
※当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。
4. 結 果 公 表 アンケート集計結果は、「全住協メールマガジン」Vol.0094
(令和5年1月15日)のコーヒータイトム内で公表する予定です。
※アンケート結果は収集した数値・ご意見のみ公表するものであり、会社名や個人名は一切公表いたしません。
※全住協メールマガジンに登録されていない方は、全住協事務局で登録手続きをさせていただきます。
5. 問 合 せ 先 (一社)全国住宅産業協会 担当 佐久間
T E L 0 3 - 3 5 1 1 - 0 6 1 1 E-mail r_sakuma@zenjukyo.jp

以 上

全住協メールマガジン「IT・DXツールの導入状況に関するアンケート調査」回答票

貴社名		回答者属性 (複数回答可)
回答者氏名		<input type="checkbox"/> 総務系
メールアドレス		<input type="checkbox"/> 営業系
電話番号		<input type="checkbox"/> 技術系
		<input type="checkbox"/> その他 ()

Q1. 貴社のIT・DXツールの導入状況について当てはまるものを選択してください。

- 新型コロナウイルス感染拡大前(2019年以前)から導入している
- 新型コロナウイルス感染拡大(2020年)～昨年(2021年)までの間に導入している
- 今年(2022年)から導入した
- 導入するか検討している
- 今のところ導入する予定はない
- その他()

Q2-①. IT・DXツールを既に導入している業務について当てはまるものを選択してください。(複数回答可)

- 総務系業務(例:チャットツール、WEB会議システム、勤怠管理システム、日報アプリ等)
- 営業系業務(例:電子契約システム、VR内見、顧客管理システム、不動産情報プラットフォーム等)
- 技術系業務(例:施工管理システム、建設機械自動運転システム、建設現場ウェアラブルカメラ等)
- その他()

-②. 既に導入している具体的な業務(又はツール・システム)で効果が高かったものがあれば記載してください。

Q3-①. IT・DXツールを今後導入したい業務について当てはまるものを選択してください。(複数回答可)

- 総務系業務(例:チャットツール、WEB会議システム、勤怠管理システム、日報アプリ等)
- 営業系業務(例:電子契約システム、VR内見、顧客管理システム、不動産情報プラットフォーム等)
- 技術系業務(例:施工管理システム、建設機械自動運転システム、建設現場ウェアラブルカメラ等)
- その他()

-②. 今後導入したい具体的な業務(又はツール・システム)があれば記載してください。

Q4. IT・DXツールを導入したことで得られた、又は今後導入する場合に得られると期待する効果について当てはまるものを選択してください。(複数回答可)

- 業務効率化
- 人手不足の解消
- コスト削減
- 新規事業の開拓
- 新規顧客の獲得
- 顧客満足度の向上
- その他()

Q5. IT・DXツールを既に導入している、又は今後導入する場合に課題と感ずることについて当てはまるものを選択してください。(複数回答可)

- 知識・情報がない
- ノウハウのある人材がない
- 予算がない
- 費用対効果が分からない
- 既存システムの複雑化・ブラックボックス化
- セキュリティの確保が難しい
- その他()